

## 「金沢市立小学校における 環境教育の取り組み状況」 ～実践事例とその課題～

金沢市立材木町小学校 大浦 博 幸  
(金沢市小学校長会 環境教育部会)

### はじめに

今年(09年)6月、日本政府は中期目標を発表

2020年までに温室効果ガスの排出量を  
「05年比で15%減らす」

今年12月の国連気候変動枠組み条約締約国会議  
(COP15)に向けて交渉が続く

### 環境問題→環境教育の役割はますます重要

(1)教育基本法や学校教育法における義務教育の  
目標

「生命を尊び、自然を大切にし、環境保全に寄与  
する態度を養うこと」

(2)学習指導要領

「持続可能な社会の構築」のための教育の重要性

### 1 小学校における環境教育のあり方

(1)環境教育のねらい

自分を取り巻くすべての環境についての事  
物・事象に対して意欲的に関わり、それらに対  
する感受性を豊かにし、環境や環境問題に関  
する見方や考え方を育み、持続可能な社会を  
めざした活動に参加する実践力を育てる。

(国立教育政策研究所)

### (2)環境教育で育てたい力

①環境に対する豊かな感受性の育成  
(感性)

②環境に関する見方や考え方の育成  
(認識)

③環境に働きかける実践力の育成  
(表現・行動力)

### (3)環境をとらえる6つの視点

- ・循環
- ・生態系
- ・有限性
- ・多様性
- ・共生
- ・保全

## 2. これまでの研究の取り組み

### (1) 子どもたちの環境意識実態調査(平成19年度)

平成19年6月 市内8校 4年 539名  
6年 520名 計1059名

#### ①調査のねらい

- ・子どもの身の回りの環境の様子
- ・子どもの環境に対する見方、考え方
- ・平成5年度調査との比較、考察

### ②調査の結果(平成5年度との比較)

- ・環境問題を身近な問題としてとらえる意識が弱くなってきている。
- ・自然とのふれあいに対する思いや体験は減少している。
- ・公園や野原などの遊び場を求める子は増加している。
- ・ゴミの分別に対する意識はとて高くなっている。

### (2) 各校における環境教育の取り組み概要

(平成20年度各小学校長へのアンケート調査58校)

#### ①教育計画の中の環境教育の位置づけ

- ・管理運営計画に環境教育年間指導計画が位置づけられている学校はとて少なくなっている。
- ・立案されていない学校も見られる。(20校)
- ・総合的な学習の時間に、環境をテーマにした学習が全校的に行われている学校は数少なく、一部の学年に限られた学習となっている。

#### ②環境教育に関わる活動の実際

- ・飼育栽培活動については、多くの学校で取り組まれている。(ウサギが最も多く、次いで魚類)
- ・鶏や小鳥などは、鳥インフルエンザの流行などによってとて少なくなっている。
- ・田や畑の学校農園を活用している学校も多い。
- ・水質調査や気象観測、電気や水の使用量調査を行っている学校が数校見られる。
- ・ボランティア活動として清掃活動に取り組んでいる学校も見られるが、とて少ない。
- ・牛乳パックのリサイクルに取り組む学校もある。

### ③行政や他の団体との連携した活動例

- ・里山保全活動
- ・緑の少年団
- ・緑の募金活動
- ・愛鳥モデル校
- ・森と田んぼの推進事業
- ・子どもエコクラブ
- ・学校体験農園指導者事業
- ・エコグリーン活動
- ・いしかわ学校版環境ISO
- ・サケなどの放流事業

## 3. 具体的な取り組み事例

～金沢市立小学校の取り組みから～

### (1) ソフト面の整備

- ①学校経営計画と運営組織への位置づけ
  - ・年度初めに、環境教育を一つの柱に位置づけることを説明する。
- ②校区の特色と児童の実態の明確化と共有化
  - ・環境教育を進めるための素材・教材を知る。
    - 地域に出かける「地域研修」を実施。

### (1)ソフト面の整備

- ③環境教育で育てたい子どもの姿の明確化
- ・身近な自然や社会・人に興味・関心を持ち、何事にも意欲的に取り組める子
  - ・自然の不思議さ・すばらしさに感動できる子
  - ・生き物に命を感じ、慈しむことができる子
  - ・新しいものの見方・考え方ができる子
  - ・活用力や知恵を持つ子

### (1)ソフト面の整備

- ④環境教育の指導計画の見直し  
(今後、より実践的なものとするために)
- ・環境教育に関連する教科・教材の洗い出し
  - ・環境教育と学力向上策との関連づけ
  - ・総合的な学習の時間の年間指導計画
  - ・関連する教育諸活動  
清掃活動、児童会活動(委員会)、学校行事  
育友会活動や地域の関連行事

### (2)具体的活動の取り組み

- ①学校生活における日常的取り組み  
(省資源・省エネ活動)  
ゴミ減量作戦



### ①学校生活における日常的取り組み (省資源・省エネ活動)

#### 節水・節電の取り組み

- ・電力量調べ
- ・雨水タンクの活用



### ①学校生活における日常的取り組み (省資源・省エネ活動)

#### 給食の残滓ゼロ作戦

- ・残滓の重さ調べ
- ・残滓を牛乳パックで表す



### ②総合的な学習における学年テーマ

#### 3年 わくわく竹探検隊(F小)



#### 4年 マイリバー伏見川(F小)



#### ②総合的な学習における学年テーマ

##### A小学校 全学年共通:朝日の自然観察

	学年テーマ
3年	金時草
4年	日本の宝 竹
5年	朝日に生きる命
6年	環境破壊と私たちができること

#### 全学年共通テーマ:朝日の自然観察(A小)



#### ②総合的な学習における学年テーマ

##### Z小学校

	学年テーマ
3年	金沢の良さを発信しよう
4年	浅野川とわたしたちの暮らし
5年	卯辰山(里山)保全プロジェクト
6年	自分発見プロジェクト

#### 4年 浅野川とわたしたちの暮らし(Z小)



#### ②総合的な学習における学年テーマ

##### Y小学校

	各学年で学ぶ主な内容・活動
3年	金窟川の生き物調べ
4年	ゴミ問題、3R
5年	米づくり、野菜作り、省エネ
6年	ビオトープづくり

3年 金腐川の生き物調べ



4年 ゴミ問題 3R



5年 米づくりから見えること



6年 ピオトープづくり



環境新聞づくり



環境新聞づくり



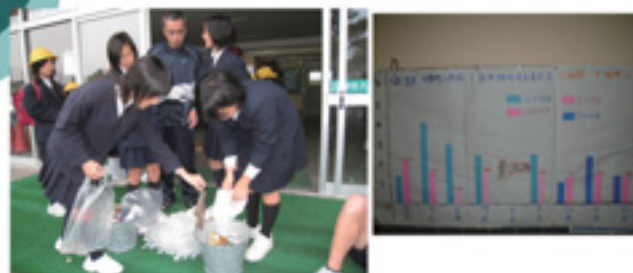
### ③各教科・道徳・特活での取り組み

1年 生活科



### ③各教科・道徳・特活での取り組み

クリーンキャンペーンやゴミの量調べ



### (3) その他の取り組み

#### ①学校外の支援者との連携

- ・金沢ユネスコスクールへの登録
- ・エコスクールへの登録(学校版環境ISO)
- ・市の環境政策課及びリサイクル推進課、歩ける町推進課(交通環境政策課)との連携
- ・大学(大学コンソーシアム石川)との連携
- ・その他、企業・各種NPO法人との連携

### (3) その他の取り組み

#### ②校長から子どもたちへの直接的働きかけ

- ・毎月の全校朝会の校長講話で



「もったいない」  
「調べてみよう」

#### ②校長から子どもたちへの直接的働きかけ

- ・掲示とクイズコーナーの設置
- ・子どもとの直接対話  
出前授業やサマースクールなどで対話

#### ③保護者への働きかけ

- ・子どもから、学校での学びを家庭に伝える  
買い物の仕方、ゴミの出し方など

・資源回収への子どもたちの参加を促す



## 明らかになったこと

- ・学力向上など、今、様々な教育課題が存在
- ・「環境教育に取り組むゆとりがない」との声も  
↓
- ・教育課程：環境をテーマとした多くの教材
- ・学校生活：様々な環境教育の場が存在

環境教育では 教師 の意識が鍵である

## 校長の関わり

- ・校長が、環境教育のわらいや指導の視点を明確にし、学校経営に反映させる。
- ・教職員への共通理解を図り、学校組織に担当者を明確に位置づける。

○校長の働きかけにより

- 教師が動く → 子どもが動く
- 子どもが動く → 教師が動く

校長の働きかけ→教師が動く→子どもが動く  
児童議会で「もったいないキャンペーン」決定



校長の働きかけ→教師が動く→子どもが動く  
委員会が「もったいないキャンペーン」寸劇



## 今後の課題として

- ・金沢「絆」教育と環境教育とのかかわりの明確化
- ・環境教育 全体計画 のモデル案作成
- ・環境教育で 育てる力 の評価方法の明確化  
(環境意識を把握するアンケートモデルの作成)
- ・家庭や地域、行政等との効果的な連携の在り方

○ご静聴、ありがとうございました。

おわり